

掲示板の電子化

チーム5

椎名 洋佑

甲野 慎太郎

大和田 瑛美華 (TA)

成見 哲 (担当教授)

目次

1. 概要
2. 掲示板の現状把握
3. 現状での問題点と改善案
4. プロジェクトの仕様
5. まとめ

1.概要

さまざまな情報が掲載される掲示板は学生生活においてとても重要であるが、利用する上で不便であることも多々存在している。



電子媒体でコミュニケーションパークの掲示板にある情報を見ることができるようなシステム（電子掲示板）を作成し、学生の掲示板利用をさらに円滑、便利にすることを目指す。

2. 掲示板の現状把握

既存の掲示板の特徴と問題点

- ・ 現在コミュニケーションパークにのみ設置されている
 - 休憩時間に人が集中し混雑する
 - 学外で情報を確認することができない
- ・ 分野ごとに情報が一定期間掲示される
 - 掲示が順に並ぶわけではないため新着情報がわかりづらいことがある

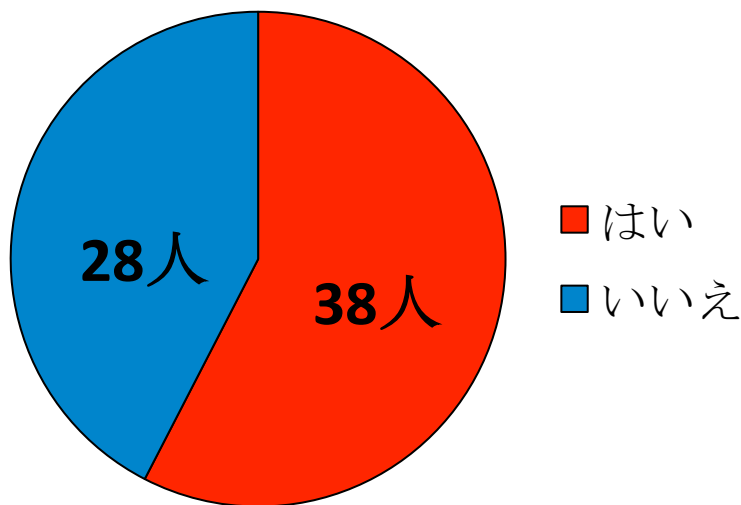


電子掲示板の需要や利点について利用者にアンケートを実施

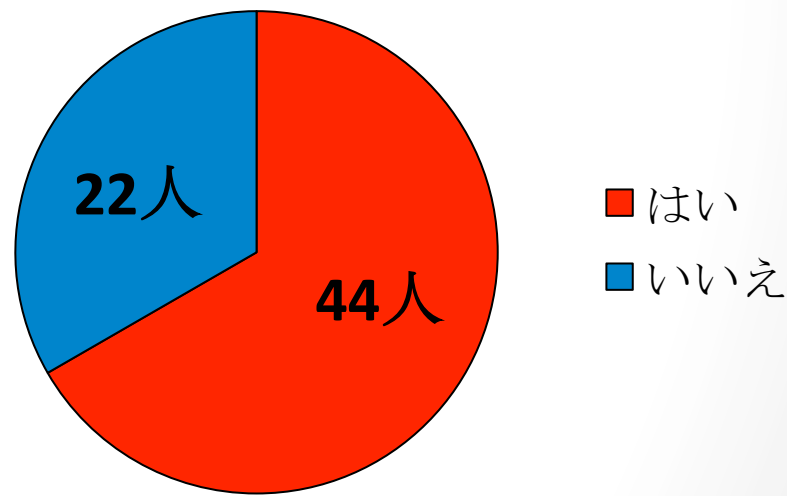
2. 掲示板の現状把握

アンケート結果：回答者**66**人 未回答者**2**人

休講情報のwebページや
twitterの休講botを利用し
ていますか？



混雑していたため掲示板を見に
行くのをやめた経験はありませ
るか？

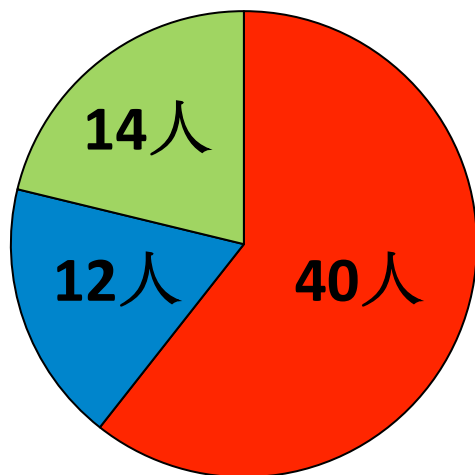


2. 掲示板の現状把握

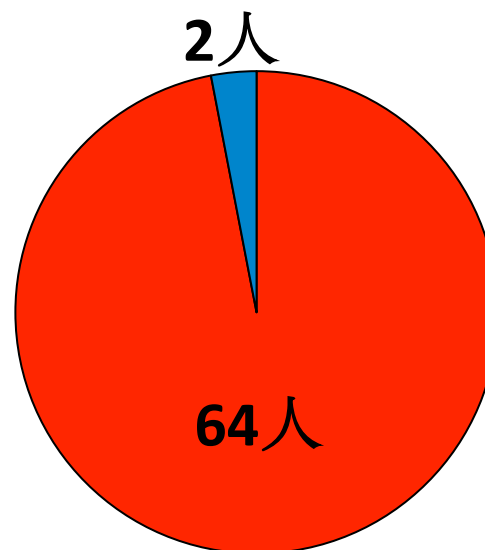
アンケート結果：回答者**66**人 未回答者**2**人

掲示板が更新されたことをどうやって知ることが多いですか？

インターネットを通じて掲示板の内容を見れるとしたら利用しますか？



- 自分で見る
- 友達や先輩から直接聞く
- SNSを含むweb媒体



- はい
- いいえ

2. 掲示板の現状把握

掲示板の運営を行う電子媒体について

過去のプロジェクトではwebページを利用する形態であったが、
はたしてそれが妥当であるのかの議論

- SNSは利用者が本学学生であるか区別がつかない
- メーリングリストは能動的に調べることができない
- アプリは専用の知識が多く開発の手間が多い



Webページでの運営が妥当という結論に

2. 掲示板の現状把握

Webページに掲示板の情報を掲載するとして...

実際の掲示物が、どこかの管理部署を通して掲示板へ掲載されているならば、その部署にWeb掲載の作業を要請する可能性がある



現在、学生掲示板（授業連絡や履修・試験情報）への掲示物はどのような経路をたどって掲示板へ貼られているのか。教務関係の掲示を行っている教務課へアンケートを行った。

2. 掲示板の現状把握

- 掲示物の掲示手順は？

教務課からの回答によると...

掲示物は

1. 教職員が各々で掲示しているもの
2. 教務課へ持ち込まれ、教務課で掲示を行うもの

の二通りがあり、教務課に持ち込まれる掲示物は

1. 印刷物
2. PDFやWordなどのファイル

が存在する。

従って「統一された掲示手順は存在せず、教務課で全ての掲示物を管理および電子化するのは困難」

→ 掲示者が各々でwebアップする仕組みを作る

3. 現状での問題点と改善案

掲示情報のweb掲載に際して、浮上する問題点

- 個人情報のweb公開に問題がある。
 - 学内限定公開にすることで、アクセスを制限
- 掲示板への掲示経路が統一されておらず、管理が困難。
 - 掲示者各々にwebアップをしてもらえるような仕組みを作る

以上を踏まえて、

「学内専用」 「簡単に掲載できる」

という条件を満たすシステム作成が必要

3. 現状での問題点と改善案

過去のプロジェクトでは

- ・ 継続性
 - 課だけでなく学生団体の有志も管理を行う形態に
- ・ 責任は誰が取るのか
 - 利用者、管理者ともの連帯責任
- ・ 手書きの掲示物に対する対応
 - 課や講義担当者が載せ損ねたものは学生側がフォロー

といった問題点が挙げられていた

学生を掲示者として取り入れた運営を行うことで、
これらの問題を解決

3. 現状での問題点と改善案

学生自身に記事投稿に参加するメリットがない

→学生側が投稿することに意義を感じるような工夫をする

例として

例1. 記事ごとに「役立ちボタン」を設置し、押された総数に応じて「貢献度ランキング」を一定期間ごとに作成

例2. 掲示板以外の情報としてサークルや委員会、有志などのイベントの告知宣伝をすることを基準を設けて許可する

4. プロジェクトの仕様

システム仕様

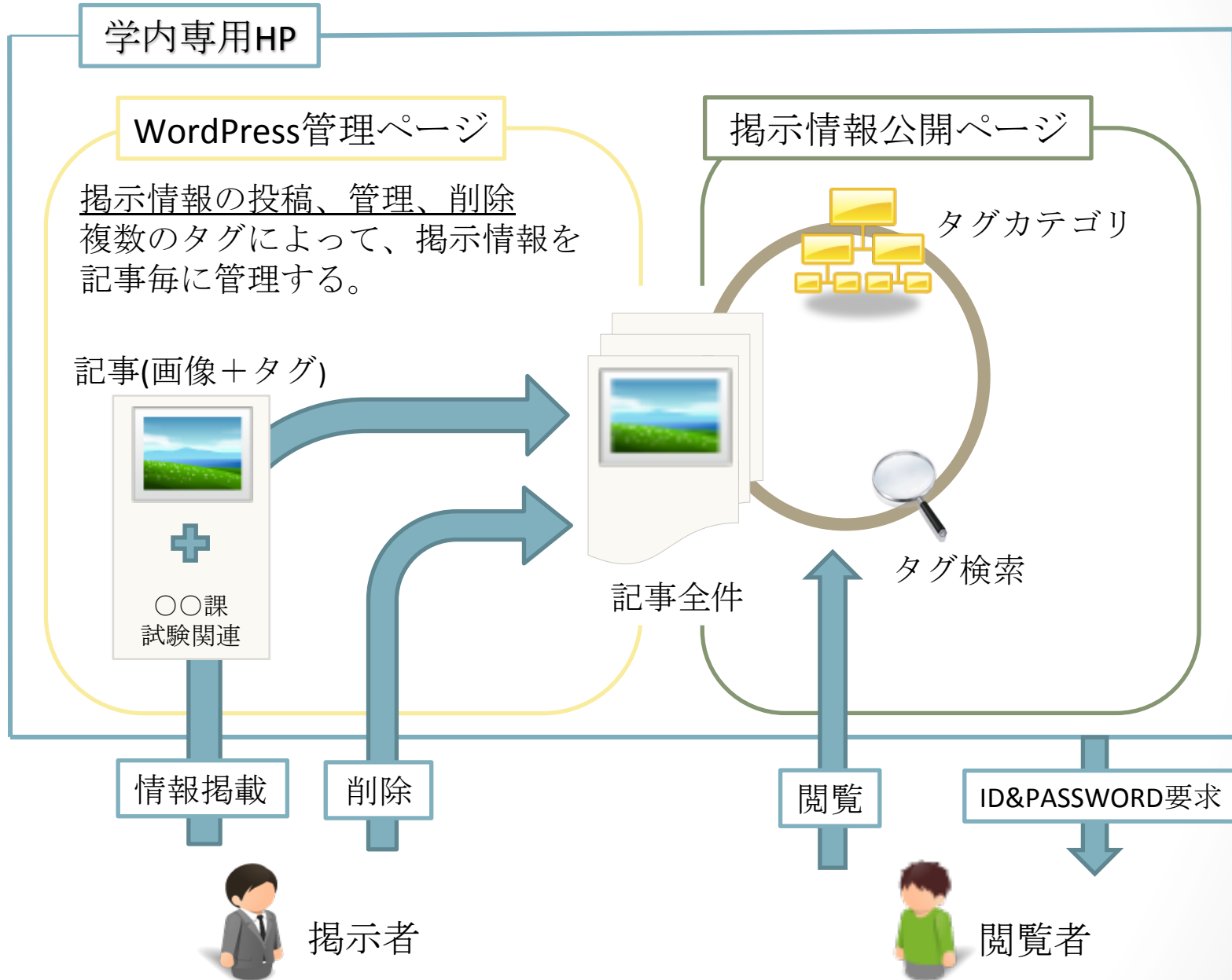
- 掲示情報を画像ファイルで掲載する学内専用の掲示板HPを作成する。
- ブログ形式のHPで、一つの掲示情報を一記事として投稿し、管理する。
- 掲示板HPの管理を簡易にする為、ブログソフトウェアである「WordPress」を用いる。

4. プロジェクトの仕様

システム仕様

- 掲示者は教務課、学生課、講義担当者が対象であるが学生団体も申請を行うことで可能にする
- 記事の削除は依頼、または記事に一定数不適切という投票がされた場合に削除する

システム概略



5. 今後の展望（まとめ）

1. システムの試作およびテスト運用
2. 閲覧者サイド、掲示者サイドの両面から使いやすさを検討、システムの改良
3. 学内専用ページ作成の為に学内サーバの借用
4. 学内専用ページの作成とシステム運用
5. 主たる掲示者と部署にシステムの利用交渉が必要
6. その他の掲示者への普及、閲覧利用者の開拓が必要

ご清聴ありがとうございました

チーム5「掲示板の電子化」

椎名 洋佑

甲野 慎太郎

大和田 瑛美華 (TA)

成見 哲 (担当教授)